

横浜市新型コロナウイルス感染症対策 加速化プラン～Acceleration Plan～

新型コロナウイルス感染症の新規感染者は、横浜市においても依然として高い水準で推移しています。

横浜市は、最優先課題「新型コロナウイルス感染症対策」に全力で取り組み、市民の皆様の命と暮らしを守ります。

そこで、新しい対策として、ワクチン接種の加速化をはじめ、自宅療養者への支援、病床の更なる確保など医療提供体制の拡充を進めていきます。

1 【ワクチン接種】～10月末までに希望者全員のワクチン接種達成を目指します～

12歳～64歳の接種計画を見直し、ワクチン接種を加速化して、10月末までに希望する全ての市民の皆様の2回接種完了に向けて取り組みます。目標は接種率80%です。

横浜市の65歳以上の高齢者の接種率は、9月15日時点で84.3%に達しました。9月以降、国からワクチンの供給量が増加することが示され、医療機関の希望に応じた量のワクチンを配分できる見通しとなりましたので、今後、12歳～64歳の接種のスピードアップを図ります。

【全世代】

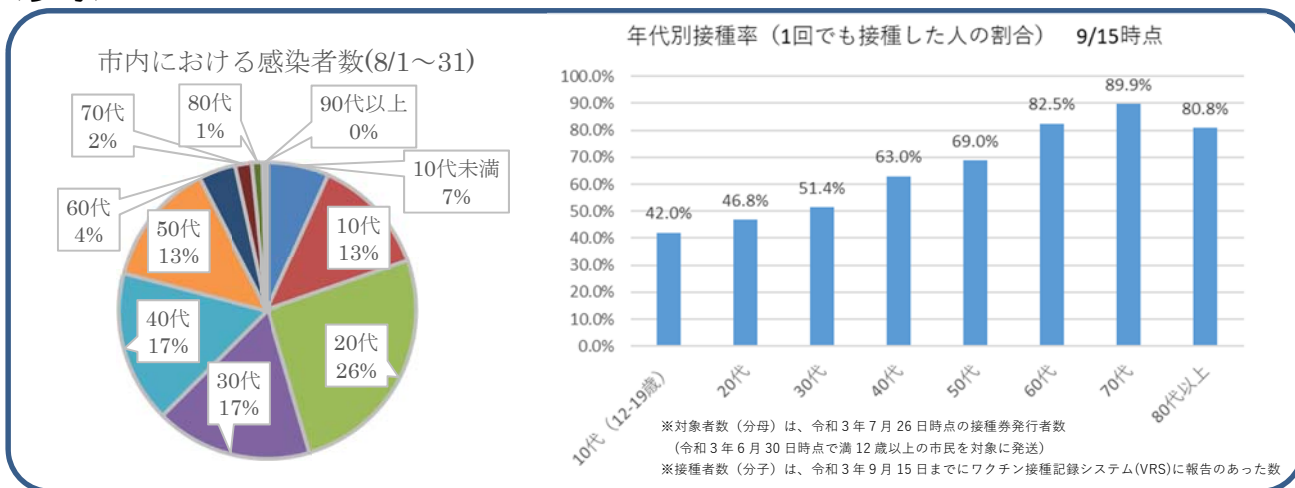
	当初計画	見直し後計画
時期	11月末	10月末【1か月の前倒し】
接種率	71.8%	80%【8.2ptアップ】

【12歳～64歳】

	当初計画	見直し後計画
時期	11月末	10月末【1か月の前倒し】
接種率	63.3%	76.8%(※)【13.5ptアップ】

※11月上旬に80%達成

<参考>



(2) 深夜・早朝接種の実施

多様なライフスタイルに合わせて接種できるよう、新たに週末に深夜から早朝までの接種を実施します。

対象者	18歳以上（市内在住）
開設時期	10月から6週間（週2日、金曜日及び土曜日に実施）
開設時間	22時から翌7時まで（予定）
場所	横浜市立大学附属市民総合医療センター（南区浦舟町4-57） （市営地下鉄「阪東橋駅」から徒歩5分）
接種可能規模	1日120人程度
受付方法	事前予約制 ※詳細は、別途発表します。
接種ワクチン	ファイザー社製

※横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、ワクチン接種や予約に関する問い合わせには対応していません。

(3) デジタルを活用した若い世代への接種勧奨

ア LINEを活用した予約受付

予約を取りやすくするため、横浜市 LINE 公式アカウントからワクチン接種の予約を開始しました。

開始時期	9月16日（木）13時 ※予約受付までにアカウント情報の登録を済ませておくとスムーズです。
利用方法	『横浜市LINE公式アカウント』を「友だち登録」することをご利用いただけます。詳細はホームページでご案内します。
予約枠	予約専用サイト、予約センターと同じ予約枠に対して予約を受け付けます。
留意点	・LINEから予約に関するアカウント情報の登録をすると、予約申し込みはLINEからのみとなり、予約専用サイトから予約することはできません。 ・同一のLINEユーザーIDから複数人の予約をすることはできませんのでご注意ください。

裏面あり

イ デジタルツールによる接種促進プロモーション

主に若い世代をターゲットとして、接種促進プロモーションを実施します。

- ・ウェブやSNSなどを活用した広告展開
- ・デジタルサイネージによる横浜駅等での屋外広告や交通広告の展開

2 【医療提供体制】～自宅療養者を必要な医療に確実につなげます～

自宅療養者の重症化を防ぐため、横浜市が対象となる方を選定し、協力医療機関と連携しながら、試行中の、市内病院での抗体カクテル療法やステロイド投薬療法を本格実施するとともに、コロナ専門病院の開院など第6波に備えた準備を進めます。

(1) 抗体カクテル療法の本格実施

抗体カクテル療法専用の病床を設置することができる市内医療機関と、横浜市が協定を締結し、ハイリスクの軽症患者に抗体カクテル療法を実施します。

(2) ステロイド投薬療法の本格実施

自宅療養者に対して電話による診察を実施し、必要な方にステロイド剤を処方・自宅へ配送することで、自宅療養者の重症化を予防していきます。

(3) コロナ専門病院の開院準備

「コロナ専門病院」の11月中の開院を目指して検討を進めます。

(4) コロナ対策アドバイザリーボードの開催

今後の新型コロナウイルス感染症対策を検討するため横浜の地域医療を良く知る医療関係者を中心に、10名程度から幅広く意見を聴取するアドバイザリーボードを開催します

※これらの取組の一部は、関連する補正予算の成立が前提となります。

お問合せ先	
【1 12歳～64歳の接種計画の見直しについて】	
健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長	鳥丸 雅司 Tel 045-671-4841
【1 (1)について】	
健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長	山本 登 Tel 045-671-4841
【1 (2)について】	
健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長	久保田 淳 Tel 045-671-4841
【1 (3)アについて】	
健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長	山崎 晋一 Tel 045-671-4841
【1 (3)イについて】	
健康福祉局健康安全課ワクチン接種調整等担当課長	鈴木 真実 Tel 045-671-4841
【2について】	
医療局医療政策課長	山本 憲司 Tel 045-671-2438

横浜市新型コロナウイルス感染症対策 加速化プラン～ Acceleration Plan ～

ワクチン接種の加速化、医療提供体制の確保、第6波への備えを力強く行います

1 【ワクチン接種】10月末までに希望者全員のワクチン接種達成を目指す

(1) 接種の加速

- ア 12歳～64歳の接種計画の見直し
- イ 16歳～39歳向けの「横浜市若者向けワクチン接種センター」の開設
- ウ 深夜・早朝接種の実施

(2) デジタルを活用した若い世代への接種勧奨

- ア 予約の簡便化（LINEを活用）
- イ デジタルツールによる接種促進プロモーション

2 【医療提供体制】自宅療養者を必要な医療に確実につなげる

(1) 自宅療養者への支援

- ア 抗体カクテル療法の本格実施
- イ ステロイド投薬療法の本格実施

(2) 医療体制の強化

- ア コロナ陽性患者用病床の拡充（554床→685床）
- イ コロナ専門病院の開院準備
- ウ 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードの開催

3 【可視化・データ活用】コロナに関するデータを分かりやすくオープンに

自宅療養者数やY-CERTによる入院・転院調整数など、これまで示していないデータも含め、分かりやすく公表します。

4 【経済との両立】長期化するコロナ禍の中で、経済との両立を図るための準備

より安心して外食・イベントを行うための感染防止対策のモデルケースなど実証事業を検討します。